

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年10月 9日
Date of Application:

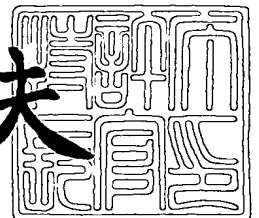
出願番号 特願2002-295618
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP2002-295618]

出願人 カルソニックカンセイ株式会社
Applicant(s):

2003年 9月16日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3075800

【書類名】 特許願

【整理番号】 CPE-00010

【提出日】 平成14年10月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B60K 35/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中野区南台5丁目24番15号 カルソニックカンセイ株式会社内

 【氏名】 中川 泰之

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中野区南台5丁目24番15号 カルソニックカンセイ株式会社内

 【氏名】 佐藤 繁行

【特許出願人】

 【識別番号】 000004765

 【氏名又は名称】 カルソニックカンセイ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100082670

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 西脇 民雄

【選任した代理人】

 【識別番号】 100114454

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 西村 公芳

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 007995

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0011700

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 車両用表示装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 文字板の表面に沿って指針を回動可能に設けると共に、文字板の表面側に文字板から離間させて透明カバーを配設した車両用計器において、
前記透明カバーに、文字板に対して浮遊状態となるよう小表示部を配設したことを特徴とする車両用表示装置。

【請求項 2】 前記小表示部を、前記透明カバーの前記指針の基部と重なる位置に配置したことを特徴とする請求項 1 記載の車両用表示装置。

【請求項 3】 前記小表示部をハウジングに収容すると共に、該ハウジングの外側面が、前記指針の基部の外側面と略面一状態で連続するように構成するか、或いは、前記ハウジングの外側面が、前記指針の基部の外側面よりも大径となるように構成したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の車両用表示装置。

【請求項 4】 前記小表示部のハウジングの外側面を、前記文字板へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状に連続させたことを特徴とする請求項 3 記載の車両用表示装置。

【請求項 5】 前記指針の基部に、前記小表示部へ給電するためのハーネスを通す挿通孔を設けると共に、該挿通孔を指針の回動に対してハーネスが干渉しない非干渉形状としたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の車両用表示装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、車両用表示装置に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

自動車等の車両には、車室前部のインストルメントパネル部分に、速度計や回転計や水温計、オド・トリップメータ等の複数の計器部を有する指示計器（車両用計器）が取付けられている。

【 0 0 0 3 】

このような車両用計器には、指針の回動領域を有する文字板における指針の基部に、セグメント表示部および自由表示部を有する小表示部を備えたものもある。(特許文献 1 参照)

【 0 0 0 4 】**【特許文献 1】**

特開 2 0 0 0 - 1 0 8 7 2 2 号公報

【 0 0 0 5 】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら上記公報の車両用計器では、小表示部は、文字板に対して略面一の状態で設けられていたため、文字板と略同一面上に小表示部が存在するかの如く視認されるので、平坦に見え、十分な視覚効果を得ることができないという問題があった。

【 0 0 0 6 】

そこで、本発明の目的は、上記の問題点を解消し、小表示部が立体的に見えるように構成することにより、新たな視覚効果を得ることのできる車両用表示装置を提供することにある。

【 0 0 0 7 】**【課題を解決するための手段】**

上記課題を解決するために、請求項 1 の発明では、文字板の表面に沿って指針を回動可能に設けると共に、文字板の表面側に文字板から離間させて透明カバーを配設した車両用計器において、前記透明カバー部分に、小表示部を浮遊状態で配設したことを特徴としている。

【 0 0 0 8 】

このように構成された請求項 1 の発明によれば、小表示部が文字板の表面に対して宙に浮遊した状態に見えるため、立体感のある新たな視覚効果を得ることができる。

【 0 0 0 9 】

請求項 2 の発明では、前記小表示部を、前記透明カバーの前記指針の基部と重

なる位置に配置した請求項 1 記載の車両用表示装置を特徴としている。

【 0 0 1 0 】

このように構成された請求項 2 の発明によれば、小表示部を指針の基部と重なる位置に配設することにより、小表示部を視認し易い位置で且つ文字板の邪魔にならない位置に配置することができる。

【 0 0 1 1 】

請求項 3 の発明では、前記小表示部をハウジングに收容すると共に、該ハウジングの外側面が、前記指針の基部の外側面と略面一状態で連続するように構成するか、或いは、前記ハウジングの外側面が、前記指針の基部の外側面よりも大径となるように構成した請求項 1 または 2 に記載の車両用表示装置を特徴としている。

【 0 0 1 2 】

このように構成された請求項 3 の発明によれば、小表示部を收容するハウジングの外側面が、指針の基部の外側面と略面一状態で連続するか、或いは、ハウジングの外側面が、指針の基部の外側面よりも大径となるようにすることにより、小表示部を良好な外観に仕上げることができる。

【 0 0 1 3 】

請求項 4 の発明では、前記小表示部のハウジングの外側面を、前記文字板へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状に連続させた請求項 3 記載の車両用表示装置を特徴としている。

【 0 0 1 4 】

このように構成された請求項 4 の発明によれば、小表示部のハウジングの外側面を文字板へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状とすることにより、文字板の表示領域をより広く確保することができると共に、小表示部のハウジングを目線から有効に隠すことができる。

【 0 0 1 5 】

請求項 5 の発明では、前記指針の基部に、前記小表示部へ給電するためのハーネスを通す挿通孔を設けると共に、該挿通孔を指針の回動に対してハーネスが干渉しない非干渉形状とした請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 請求項に記載の車両用

表示装置を特徴としている。

【 0 0 1 6 】

このように構成された請求項 5 の発明によれば、指針の基部に小表示部へ給電するためのハーネスを通す挿通孔を設けることにより、ハーネスを介して小表示部へ有効に給電することができる。また、挿通孔をハーネスと非干渉形状とすることにより、回動中の指針にハーネスが干渉しないようにすることができる。

【 0 0 1 7 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の具体的な実施の形態について、図示例と共に説明する。

【 0 0 1 8 】

図 1 ～図 6 は、この発明の実施の形態を示すものである。

【 0 0 1 9 】

まず、構成を説明すると、自動車等の車両における車室前部にはインストルメントパネルが設けられている。このインストルメントパネルには、図 1、図 2 に示すような、指示計器（車両用計器 1）が設けられている。この指示計器（車両用計器 1）は、複数の計器部 2 を有している。各計器部 2 は、例えば、速度計 3 や回転計 4 や水温計 5 や燃料計 6 などから構成されている。

【 0 0 2 0 】

各計器部 2 は、図 3 ～図 5 に示すように、指針 7 の回動領域を有する文字板 8 と、指針 7 を回動するムーブメント 9 および L E D などの照明用の光源 1 0 などを備えた基盤 1 1 とを備えている。

【 0 0 2 1 】

基盤 1 1 は文字板 8 の裏面側に所要の間隔を有して配設されている。また、文字板 8 と基盤 1 1 とは共にケース 1 2 に収容されている。

【 0 0 2 2 】

文字板 8 における指針 7 の回動領域の略中心部には指針軸孔 1 3 が形成されている。この指針軸孔 1 3 に対してムーブメント 9 の出力軸（指針軸 1 4）が挿通されている。この指針軸 1 4 の先端には指針 7 の基部 1 5（指針回動中心）が取付けられている。この指針 7 の基部 1 5 には、略円筒型の指針キャップ 1 6 が取

付けられている。

【0023】

また、指針7の回動領域の外周部には、目盛や数値などの文字目盛等表示部が略円形に形成されている。ここで、文字板8は樹脂製の透明板を備えている。この文字板8に文字目盛等表示部を残して非透光性の印刷を施すことにより、透光性の文字目盛等表示部が形成されている。そして、文字板8の裏面側には光源10からの照明光を文字板8の文字目盛等表示部へと導く導光体17が設けられている。

【0024】

ここで、文字板8は、平面視ほぼ円形状を呈している。また、文字板8は、側面視ほぼ凹面状を呈している。これに対応して、指針7の側面形状も、文字板8の凹面状に沿った湾曲形状とされている。そして、指針7の基部15には、指針7を発光させる光源18が設けられている。

【0025】

この実施の形態の車両用計器1では、上記の各計器部2は、図1、図2に示すように、単眼風メータとされている。

【0026】

即ち、文字板8の表面側外周を取囲み筒状を呈する外周壁部材21を設けることにより、各計器部2をそれぞれ独立させて、単眼風メータとしている。なお、水温計5と燃料計6とは同じ外周壁部材21内に收容されている。これにより、3連の単眼風メータとしている。そして、3連の単眼風メータの外周壁部材21間を略円形の連結部22をラップさせた状態で連結して、メータ意匠を構成している。そして、この連結部22に各種の警告灯23などを設けている。

【0027】

更に、図3～図5に示すように、文字板8の表面に対し文字板8から離間させて透明カバー25を支持するようにしている。

【0028】

そして、透明カバー25を断面山型形状として、外周壁部材21の内周面へ向けて外光を反射させ得るよう構成している。

【0029】

更に、外周壁部材 21 を透明カバー 25 と同一材質の透明材料で形成している。そして、外周壁部材 21 の側面 21 a, 21 b を隠蔽処理して外周壁部材 21 の先端縁部 21 c が発光部 26 となるように構成している。

【0030】

そして、外周壁部材 21 の後端縁部 21 d に光源 10 を配設して、この光源 10 からの照明光を発光部 26 へ導くように構成している。ここで、上記した照明用の光源 10 を、文字板 8 の外周部で、且つ、導光体 17 の側端部 17 a および外周壁部材 21 の後端縁部 21 d に配置することにより、光源 10 を共用させるようにしている。この光源 10 には、例えば、LED を用いる。この光源 10 は、外周壁部材 21 の周方向に対し、所要の間隔をおいて複数個配置する。例えば、光源 10 は 10 ～ 12 個程度配置する。

【0031】

且つ、断面山型形状をした透明カバー 25 の裾野部 25 a を、外周壁部材 21 の後端縁部 21 d に一体に接続している。

【0032】

そして、外周壁部材 21 の側面 21 a, 21 b の隠蔽処理は、内筒部材 28 および外筒部材 29 より構成されて、内筒部材 28 および外筒部材 29 の間に外周壁部材 21 を収容している。なお、外周壁部材 21 の側面 21 a, 21 b の隠蔽処理は、塗装などとしても良い。

【0033】

外周壁部材 21 の先端縁部 21 c の発光部 26 には、内外周面が内筒部材 28 および外筒部材 29 と面一になる発光リング部材 31 が、内筒部材 28 および外筒部材 29 とは別体に設けられている。

【0034】

発光リング部材 31 の表面は、金属光沢を有すると共に照明光を透過可能な薄膜の表面処理 32 が施されている。

【0035】

この実施の形態の車両用計器 1 では、更に、透明カバー 25 に、文字板 8 に対

して浮遊状態となるよう小表示部 35 を配設する。この小表示部 35 には、例えば、シフトレンジ表示や方向支持表示などを表示させるようにする。

【0036】

この小表示部 35 は、透明カバー 25 のどの位置に取付けても良いが、好ましくは、透明カバー 25 の指針 7 の基部 15 と重なる位置、即ち、透明カバー 25 の山型形状の頂部 25 a の裏面側に配置・固定する。

【0037】

この小表示部 35 は、矩形状の LCD パネルまたは EL パネルで構成され、例えば LCD の場合はその背面には拡散板 36 が接着され、その背後からバックライト 37 で照明し得るように構成されている。このバックライト 37 には、例えば、LED などを用いる。これらの小表示部 35、拡散板 36、バックライト 37 は、略円筒形のハウジング 38 に収容されている。

【0038】

そして、透明カバー 25 の頂部 25 a は、ハウジング 38 の先端と略同一径の開口部 39 が形成され、この開口部 39 には遮光板 40（例えば光の出射方向を規制制御するライトコントロールフィルム等）が取付けられている。上記した小表示部 35 はこの遮光板 40 の裏面に密接配置されている。また、ハウジング 38 は開口部 39 の裏面側の縁部にその全周を支持されている。更に、開口部 39 の表面側の縁部には、リング状のレンズ 41 が突設形成されている。

【0039】

そして、好ましくは、この小表示部 35 を収容するハウジング 38 の外側面 38 a が、指針 7 の基部 15 の外側面 15 a と略面一状態で連続するように構成する。或いは、ハウジング 38 の外側面 38 a が、指針 7 の基部 15 の外側面 15 a よりも大径となるように構成する。即ち、指針 7 の基部 15 の外側面 15 a がハウジング 38 の外側面 38 a よりも小径となるように構成する。なお、ハウジング 38 の外側面 38 a と指針キャップ 16 との間には、僅少な間隙 42 が介在されている。

【0040】

この際、好ましくは、小表示部 35 のハウジング 38 の外側面 38 a を、文字

板 8 へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状とする。同様に、指針キャップ 16 の外側面 21a, 21b も、文字板 8 へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状としても良い。

【0041】

更に、指針 7 の基部 15 に設けられた指針キャップ 16 に、小表示部 35 やバックライト 37 へ給電するためのハーネス 43 を通す挿通孔 44 を設けると共に、挿通孔 44 を指針 7 の回動に対してハーネス 43 が干渉しない非干渉形状とする。さらに非干渉形状の挿通孔 44 について説明すると、前記挿通孔 44 は、指針軸 14 が圧入固定される圧入部及び該圧入部から指針 7 へ延びる連結部を残し、指針軸と同軸での円弧状スリットに形成されており、指針が回転した場合に、ハーネス 43 は円弧状スリットからなる挿通孔 44 内を相対移動する。

【0042】

次に、この実施の形態の作用について説明する。

【0043】

この実施の形態によれば、文字板 8 の表面側外周を取囲む筒状の外周壁部材 21 を、透明カバー 25 と同一材質の透明材料で形成し、外周壁部材 21 の側面 21a, 21b を隠蔽処理して、外周壁部材 21 の後端縁部 21d に光源 10 を配設することにより、外周壁部材 21 を導光体 17 として利用し、外周壁部材 21 の先端縁部 21c を発光部 26 としてリング状に光らせることができ、これにより、新たな視覚効果を得ることができる。また、透明カバー 25 と外周壁部材 21 とを一体に接続することにより、構造を簡略化し、機能を集約して、部品コストを削減することができる。

【0044】

内筒部材 28 および外筒部材 29 を用いて外周壁部材 21 の側面 21a, 21b の隠蔽処理を行うことにより、隠蔽処理を確実に行うことができると共に、外觀品質をより高級なものとすることができる。

【0045】

外周壁部材 21 の先端縁部 21c の発光部 26 に発光リング部材 31 を設けることにより、発光部 26 の発光をより高品質なものとすることができる。また、

発光リング部材 31 を内筒部材 28 および外筒部材 29 と別体に設けることにより、製造を容易化することができる。更に、発光リング部材 31 の内外周面を内筒部材 28 および外筒部材 29 と面一にすることにより、連続感や一体感を得ることができる。

【0046】

発光リング部材 31 に施した薄膜の表面処理 32 により、発光リング部材 31 は、非照明時は金属光沢面に見え、照明時は表面処理 32 を透過したイルミネーション光を見ることができる。

【0047】

更に、この実施の形態によれば、透明カバー 25 に、文字板 8 に対して浮遊状態となるよう小表示部 35 を配設したことにより、小表示部 35 が文字板 8 の表面に対して宙に浮遊した状態に見えるため、立体感のある新たな視覚効果を得ることができる。

【0048】

また、小表示部 35 を指針 7 の基部 15 と重なる位置に配設することにより、小表示部 35 を視認し易い位置で且つ文字板 8 の邪魔にならない位置に配置することができる。

【0049】

小表示部 35 を収容するハウジング 38 の外側面 38a が、指針 7 の基部 15 の外側面 15a と略面一状態で連続するか、或いは、ハウジング 38 の外側面 38a が、指針 7 の基部 15 の外側面 15a よりも大径となるようにすることにより、小表示部 35 を良好な外観に仕上げることができる。

【0050】

更に、小表示部 35 のハウジング 38 の外側面 38a を文字板 8 へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状とすることにより、文字板 8 の表示領域をより広く確保することができると共に、小表示部 35 のハウジング 38 の外側面 38a を目線から有効に隠すことができる。同様に、指針 7 の基部 15 の外側面 15a を文字板 8 へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状とすることにより、文字板 8 の表示領域をより広く確保することができると共に、小表示部 35 のハウジング 38 の外

側面 38a を目線から有効に隠すことができる。

【0051】

そして、指針 7 の基部 15 に小表示部 35 などへ給電するためのハーネス 43 を通す挿通孔 44 を設けることにより、ハーネス 43 を介して小表示部 35 へ有効に給電することができる。また、挿通孔 44 をハーネス 43 と非干渉形状とすることにより、回動中の指針 7 にハーネス 43 が干渉しないようにすることができる。なお、小表示部 35 などへの給電は、ハーネス 43 を用いる以外にも非接触式で行うことができる。この場合には、指針 7 の基部 15 に挿通孔 44 を設ける必要がないことは言うまでもない。

【0052】

【発明の効果】

以上説明してきたように、請求項 1 の発明によれば、小表示部が文字板の表面に対して宙に浮遊した状態に見えるため、立体感のある新たな視覚効果を得ることができる。

【0053】

請求項 2 の発明によれば、小表示部を指針の基部と重なる位置に配設することにより、小表示部を視認し易い位置で且つ文字板の邪魔にならない位置に配置することができる。

【0054】

請求項 3 の発明によれば、小表示部を収容するハウジングの外側面が、指針の基部の外側面と略面一状態で連続するか、或いは、ハウジングの外側面が、指針の基部の外側面よりも大径となるようにすることにより、小表示部を良好な外観に仕上げるることができる。

【0055】

請求項 4 の発明によれば、小表示部のハウジングの外側面を文字板へ近づくに従い細くなる逆テーパ形状とすることにより、文字板の表示領域をより広く確保することができると共に、小表示部のハウジングを目線から有効に隠すことができる。

【0056】

請求項 5 の発明によれば、指針の基部に小表示部へ給電するためのハーネスを通す挿通孔を設けることにより、ハーネスを介して小表示部へ有効に給電することができる。また、挿通孔をハーネスと非干渉形状とすることにより、回転中の指針にハーネスが干渉しないようにすることができる、という実用上有益な効果を発揮し得る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施の形態の斜視図である。

【図 2】 図 1 の正面図である。

【図 3】 図 2 の横断面図である。

【図 4】 図 2 の中央部分の縦断面図である。

【図 5】 図 2 の側部の縦断面図である。

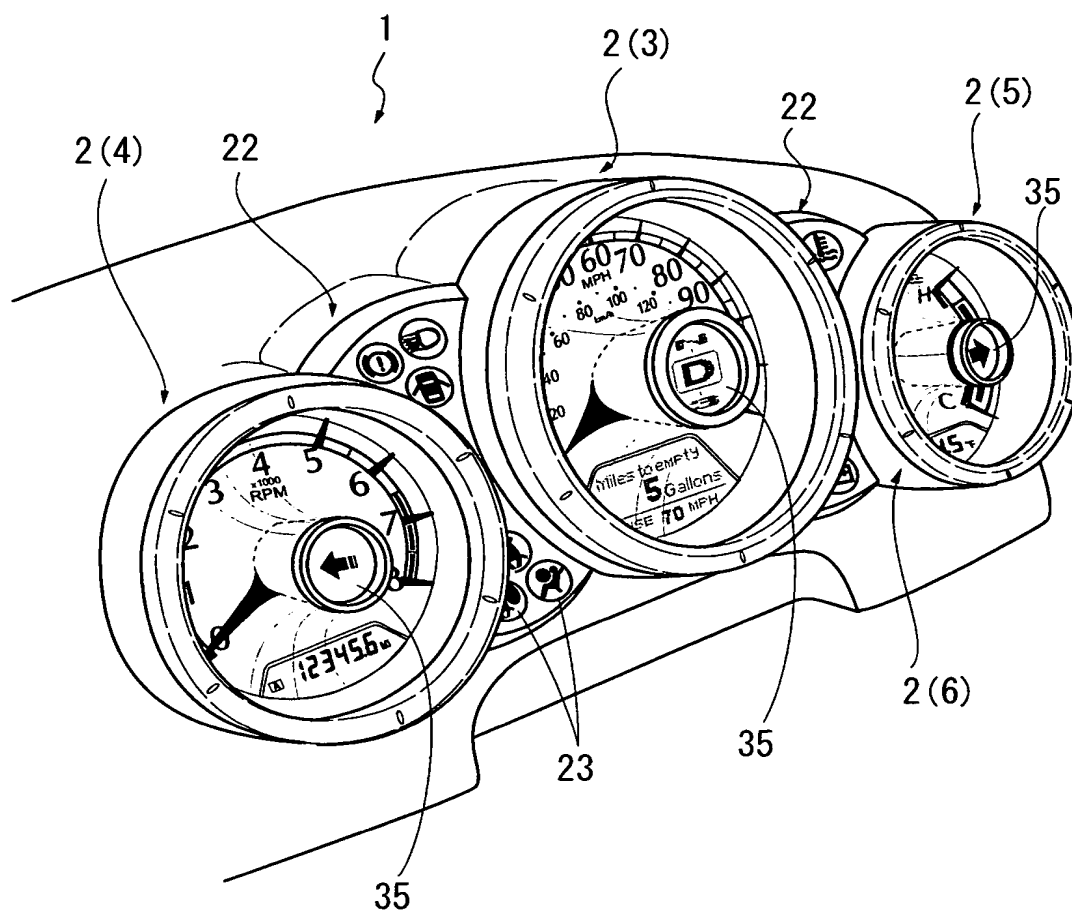
【図 6】 指針の斜視図である。

【符号の説明】

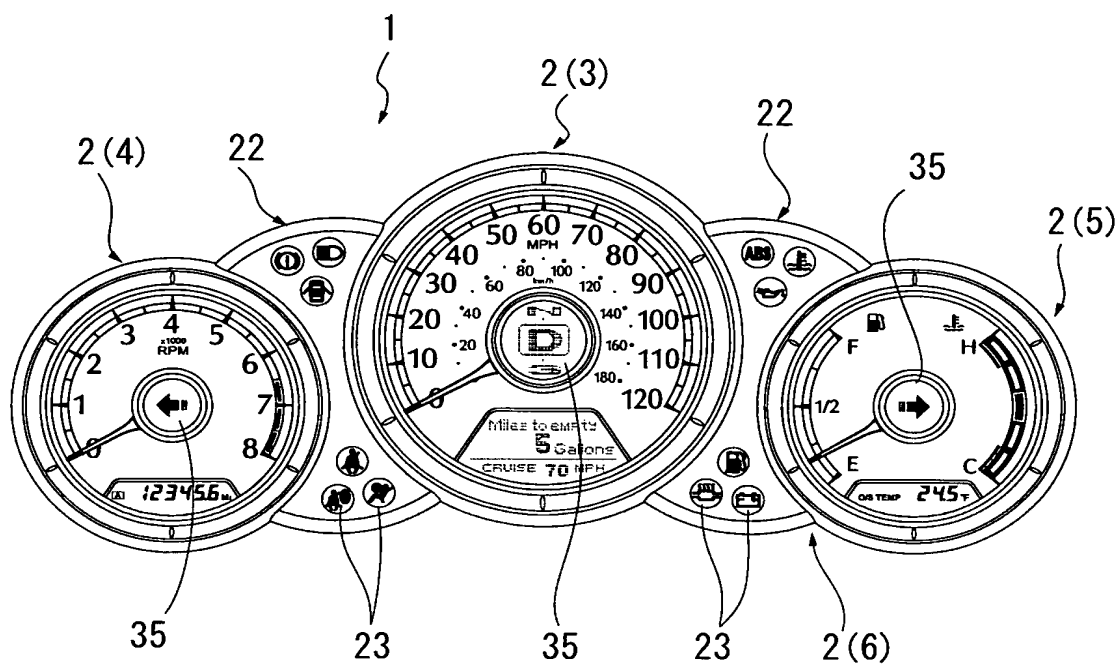
- 1 車両用計器
- 7 指針
- 8 文字板
- 1 5 基部
- 1 5 a 外側面
- 2 5 透明カバー
- 3 5 小表示部
- 3 8ハウジング
- 3 8 a 外側面
- 4 3 ハーネス
- 4 4 挿通孔

【書類名】 図面

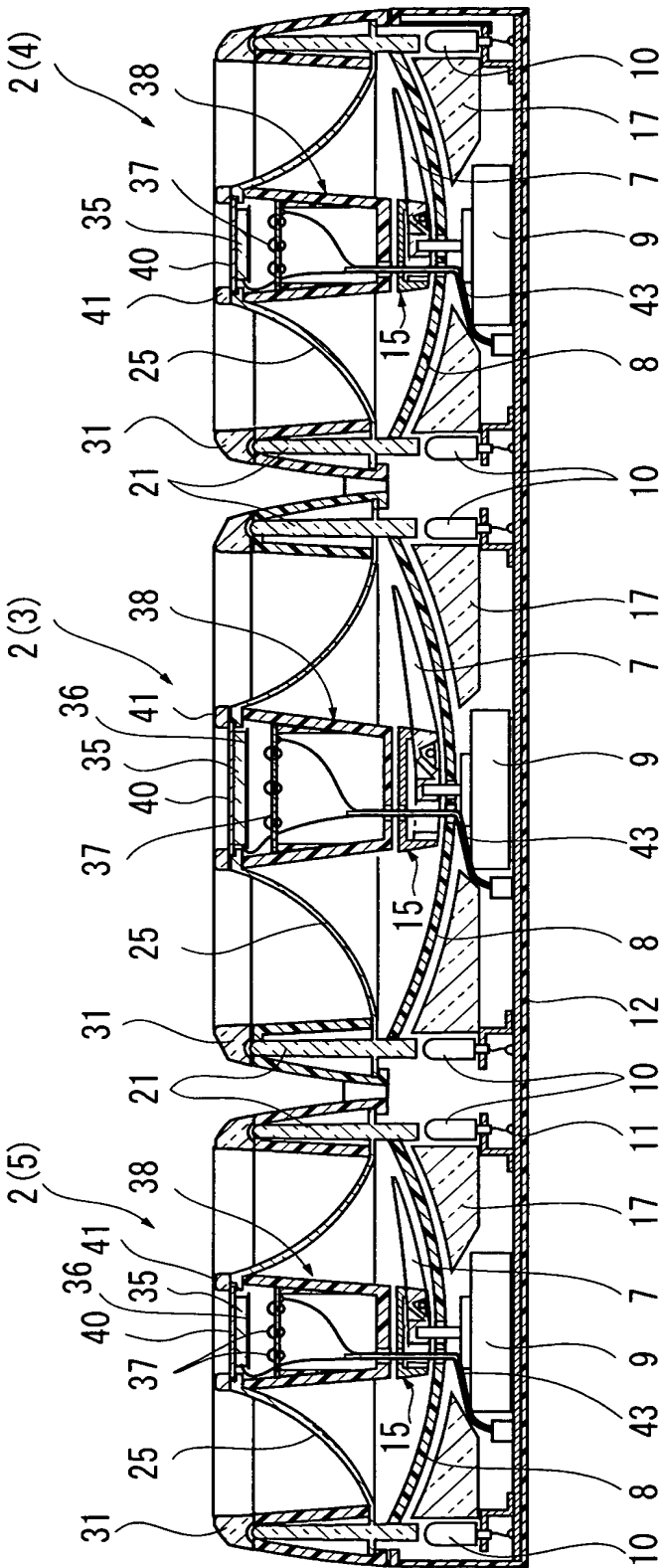
【図 1】



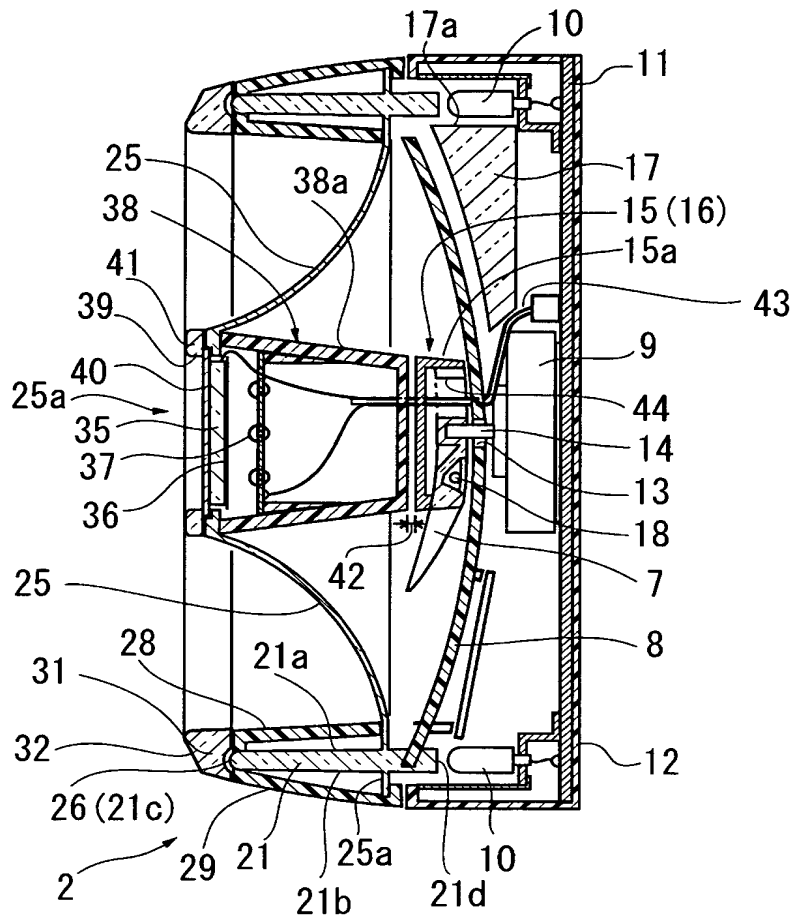
【図 2】



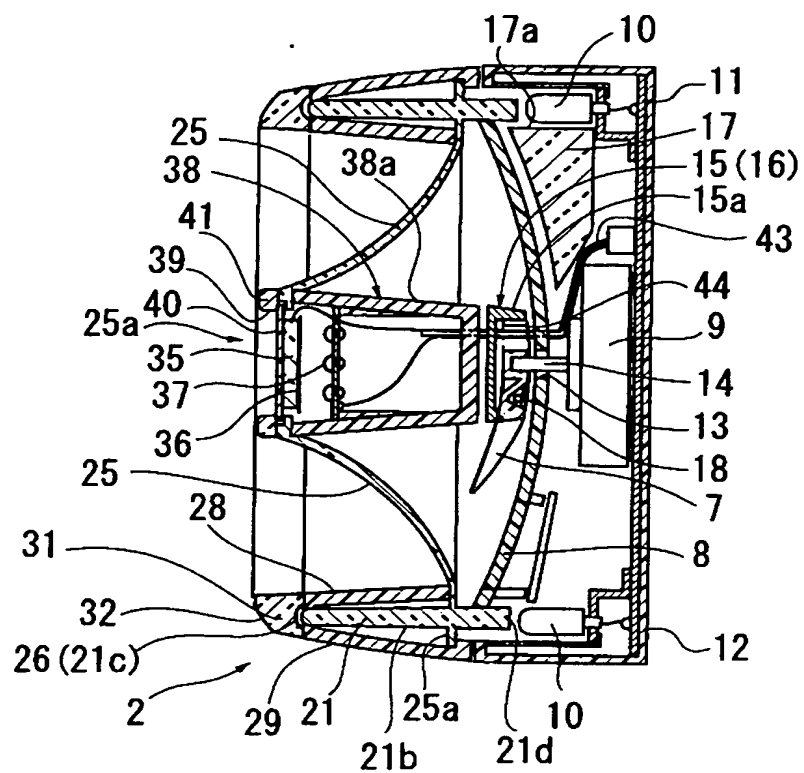
【図 3】



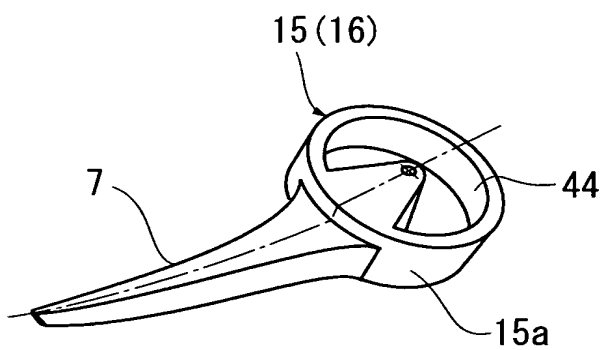
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 小表示部が立体的に見えるように構成することにより、新たな視覚効果を得ることができるようにする。

【解決手段】 文字板 8 の表面に沿って指針 7 を回動可能に設けると共に、文字板 8 の表面側に文字板 8 から離間させて透明カバー 2 5 を配設した車両用計器 1 に対し、透明カバー 2 5 部分に、文字板 8 に対して浮遊状態となるように小表示部 3 5 を配設するようにしている。これにより、小表示部 3 5 が文字板 8 の表面に対して宙に浮遊した状態に見えるため、立体感のある新たな視覚効果を得ることができるようになる。

【選択図】 図 1



特願 2 0 0 2 - 2 9 5 6 1 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 4 7 6 5]

1. 変更年月日

2 0 0 0 年 4 月 5 日

[変更理由]

名称変更

住 所

東京都中野区南台 5 丁目 2 4 番 1 5 号

氏 名

カルソニックカンセイ株式会社